校章・校旗の由来

《校　章》

《校　旗》

昭和４７年３月、第１９期生卒業記念

校名「山王」をとりまく楯の形は、秋田を象徴する「矢留」をあらわすと同時に、ペンの形の図案化により学問を象徴している。また、楯の緑は「若さ」と「希望」をあらわしている。楯を両わきから抱きかかえる稲穂は、豊かな実りの秋を象徴しており、左右を結んでいるのは「団結」をあらわしている。学校の所在地は昔、山王田八十刈あり、山王神社への寄進の米作がおこなわれ実り豊かな地であった。

昭和２８年５月　制定
デザイン　神保藤雄先生　（元豊岩中学校長）

校歌

作詞　山田　千之
作曲　井上　武士

一、
雄物の水に八橋の丘に
かがやく緑あるところ
若き日つどう友よ友
ゆくての望みはるかなる
はげます歌にわく力
われら山王　われら山王
名におう山王

二、
鳥海招き太平なごむ
やさしき山のすがたこそ
きよらな道をさとすもの
みのりのまこと散りばめて
つぶらな瞳いまはゆる
われら山王　われら山王
いのちの山王

三、
平和の旗を文化の塔を
さきがけ進む足おとの
あしたへ続くたくましさ
みちびく声に学びつつ
ますみの空に夢つなぐ
われら山王　われら山王
なつかし山王

若人山王

作詞　岩谷　亮
作曲　木内　博

一、
鳥海の峰の
　気高さを
雄物の流れの
　永久なるを
求めし庭の
　甍なる
ああ山王の
　我ら若人

二、
平和の砦に
　結ばれて
真理を求めて
　たゆむなし
まどかに集う
　甍なる
ああ山王の
　我ら若人